

派遣先所属 宮城県東部土木事務所

氏名 高野俊明（たかの としあき）、田中哲治（たなか てつはる）

派遣期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1 派遣業務の内容、現況

派遣先の東部土木事務所では、主に管内の市町である石巻市、東松島市、女川町の県管理国道、県道、橋りょう、河川、海岸施設など公共土木施設の災害復旧・復興に関する業務を行っています。東日本大震災により、管内のこれら公共土木施設が破損または崩壊しました。その原形復旧や次の災害想定に対応した整備をするための業務です。

管内の現状は、被災箇所のうち災害復旧工事が完了し復旧したところもありますが、多くの被災箇所は、震災直後の応急復旧を施したまま本工事の着手を待っている状況です。災害復旧工事の実施には、工事の計画立案とその地元理解が必要です。しかし、管内市町が実施する被災された方々を高台に集団移転する事業等との調整や工事部分が重なる道路や河川等の工事計画案の整理、工事施工に伴う市町道や水路など付替工事の内容調整など関係機関との調整が必要です。さらには、それらの計画案に地元住民の意向反映や計画案を周知し住民理解を得ることも必要です。その事前の整理・調整・周知に時間を要し、結果として計画立案が遅れているのです。しかし、震災から 2 年半が経過したこともあり、地域の本格的な復旧・復興を推進するためにも災害復旧工事等の早期発注とその工事完了が求められています。



（宮城県東部土木事務所）

担当業務は、県管理国道、県道、橋りょう、河川堤防、海岸施設など公共土木施設の災害復旧工事及び復興交付金による復興工事のための用地買収事務及びその関連事務です。これを、宮城県職員、他県派遣職員（三重県、奈良県、鳥取県、佐賀県）で

構成する当事務所用地班で実施しています。

具体的には、事業用地とその隣接地に関する境界確定及び所有者の所在調査、相続の発生状況確認とその相続関係に関する親族調査、土地買収単価算定及び建物等物件移転補償費算定、その他、契約関係事務を行っています。

これについては、当事務所の管内が広範囲に壊滅的被害を受けたため、災害復旧工事の事業箇所が多数あることから、法務局への登記事項証明申請や市役所への戸籍簿や住民票等の交付申請が膨大な量となっています。さらに、交付された証明書の情報を事業別に整理統合する作業も膨大な量です。また、地権者等の中には、被災時の居所に住民票を置いたまま応急仮設住宅に入居している場合があります。住民票等では所在が分からないことがあります。しかも、最近になって、その応急仮設住宅から親族などを頼って管内市町から転出している状況もあります。このため、地権者等の所在調査するのも大変な労力と時間が必要です。しかし、地権者等の所在の確認は用地買収に係る基本情報であり、用地買収が事業の進捗に密接に関係することから、限られた職員で迅速で正確に処理・確認する必要があり、司法書士協会への外部委託や他の土木事務所に依頼するなど苦心しているところです。



(長浜地先海岸)

地権者やその関係者はもちろん、私が所属する事務所の宮城県職員や関係する市町の担当者も被災した方々です。そのため、担当業務では、被災したときの恐怖や苦労、復興の遅れによる今後の生活への不安や不満を多く耳にします。そのたびに、一日も早い復旧・復興が地域住民の強い願いなのだと、心を引き締めて業務をしています。

私が所属する事務所も震災時の津波被害に遭い、一階部分が浸水し職員は3日間事務所に閉じ込められたようです。公用車の水没や通信手段が途絶し、公共土木施設を管理する立場ながら事務所機能が麻痺したそうです。しかしながら浸水被害から3日後にボートで脱出して、何とか被災を免れた他の事務所で執務を開始したそうです。それからは、応急復旧工事の発注や災害復旧事業の査定に関する資料作成など、緊急で膨大な作業に当たったそうです。その当時の苦労は想像を絶するものですが、2年

半経った今、宮城県職員は他県からの派遣職員と共に明るい雰囲気でも忙な日々の業務に当たっています。

2 復旧・復興状況や被災地での見聞・感想

私が所属する事務所のある石巻市は、事務所付近の幹線道路沿いについては地震直後の状況とは異なり、店舗が営業し道路も復旧するなど落ち着いた感じがします。しかし、JR 石巻駅南側の商店街は、被災した建物を修復しているところもありますが、空き地やシャッターが閉まったままのお店が点在し、商店街としての復興は、まだこれからといった感じです。また、事業を行っている地区については、津波被害で建物が流失したり、津波被害後に建物を除却したりしたので、基礎部分だけ残った土地が延々と広がっていると言った状況で、ここは被災地であると再認識する景色が残っています。

画像は石巻市の鮎川浜地区の様子ですが、復興は、まだまだこれからといった様相です。



(石巻市鮎川浜地区)